

看護補助者の業務に必要な能力の指標 (日本看護協会)

		ステップ1	ステップ2	ステップ3
能力	求められる看護補助者像	看護チームの一員としての役割と責任を理解し、看護師長及び看護職の指導を受けながら、安全に業務を遂行できる。	看護チームの一員としての役割と責任を果たし、安全に業務を遂行できる。	看護補助者の中心的なメンバーとして看護チームに参画し、看護補助者の同僚や後輩に助言や支援ができる。
	基本姿勢と態度	<p>所属施設及び組織の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 所属施設及び組織の理念を理解している。 ○ 所属施設の社会的責任について理解している。 <p>コンプライアンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公私の区別を明確にしている。 ○ 自らの役割と能力と照らして業務を引き受け、責任をもって取り組んでいる。 ○ 就業規則や施設内ルールに従って行動している。 ○ 施設の個人情報保護や守秘義務のルールを守っている。 <p>接遇・応対</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者に対して誠意をもって、礼儀正しく、不快感を与えない応対を心掛けている。 ○ 挨拶、身だしなみを整えている。 		
業務遂行に必要な知識・技術	実践 看護師から指示を受けた看護補助業務を遂行する力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護補助者の業務内容・業務範囲を説明できる。 ○ 施設の看護補助者の業務に関する規定等を確認している。 ○ 施設の看護補助者の業務に関する規定等に従い、看護師長及び看護職の指導を受けながら業務を安全に遂行している。 ○ 所属部署における看護補助業務の概要と流れを理解している。 ○ 自身の責任範囲を理解し、一人で判断せず、看護師の指示を受けて業務を遂行している。 ○ 看護師からの指示受けと報告の方法を理解し、指示を受け、報告できる。 ○ 疑問点や不明点は、看護師長や指示者に確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の看護補助者の業務に関する規定等に従い、安全に業務を遂行している。 ○ 業務の優先順位を考慮して行動計画を立てている。 ○ 疑問点や不明点を円滑に確認して看護師から指示を受け、報告できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の看護補助者の業務に関する規定等に従い、安全に業務を遂行し、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ○ 業務の優先順位を考慮して、円滑に行動計画を実行している。 ○ 必要時、業務マニュアルや実施方法の改善について、看護チームに提案している。 ○ より複雑な手順が規定されている業務についても遂行している。
	安全 業務上の危険から患者と自己を守る力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故を起こさないための注意点と対応策に関する基礎知識がある。 ○ 医療事故を起こさないための注意点と対応策を、看護師長及び看護職の指導を受けながら実施できる。 ○ 感染予防対策に関する基礎知識がある。 ○ 看護師長及び看護職の指導を受けながら、感染予防対策を実施している。 ○ 災害時の対応を理解している。 ○ 急変時の対応を理解している。 ○ 健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を、看護師長及び看護職の指導を受けながら実施できる。 ○ 労働環境において自己が危険にさらされた場合に、看護管理者又は担当部署に相談できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故を起こさないための注意点と対応策を実施できる。 ○ 感染予防対策を実施している。 ○ 災害時の自らの役割を理解し、看護師長及び看護職の助言を得ながら役割を果たせる。 ○ 急変時の自らの役割を理解し、看護師長及び看護職の助言を得ながら役割を果たせる。 ○ 健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を実施できる。 ○ 労働環境における課題に気づき、看護管理者又は担当部署に相談できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故を起こさないための注意点と対応策を実施でき、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ○ 感染予防対策を実施し、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ○ 災害時の自らの役割を理解し、状況に応じて役割を果たせる。 ○ 急変時の自らの役割を理解し、状況に応じて役割を果たせる。 ○ 健康障害を引き起こすリスク要因から自己を守る対策を実施でき、看護補助者の同僚や後輩にも助言を行っている。 ○ 労働環境において他者が危険にさらされた場合に気づき、看護チームで協働して解決を図る。
	チームワークとコミュニケーション 看護チームの目標達成に参画する力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護チームの目標を理解している。 ○ 看護チームにおける各職種の役割と責任を説明できる。 ○ 看護チームにおける情報共有の重要性を説明できる。 ○ 看護チームでの情報共有のため、報告・連絡・相談を適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護チームの目標の達成に向けた自らの役割を理解して、業務に取り組んでいる。 ○ 看護チームの目標の達成のために自身が取り組んでいることを説明できる。 ○ 必要時、患者の療養環境の改善や工夫の必要性について気づき、看護師長又は看護職に相談できる。 ○ 看護チーム内の人間関係を良好に保つよう心掛け、声をかけやすい雰囲気を作っている。 ○ 同僚と互いを尊重しあうコミュニケーションをとっている。 ○ 余力がある場合は、周囲の仕事を手伝っている。 ○ ミーティング等の機会でも、自ら進んで参加し、意見を言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護チームの目標の達成と、提供するサービスの質の向上を意識して、業務に取り組んでいる。 ○ 看護チームの目標の達成と、提供するサービスの質の向上のために自身が取り組んでいることを説明できる。 ○ 必要時、患者の療養環境の改善や工夫について、看護チームに提案している。 ○ 良好な人間関係作りに向けて、コミュニケーションの機会を自ら働きかけて作っている。 ○ 看護補助者の後輩のモデルとなるようなコミュニケーションをとっている。 ○ 看護補助者の同僚や後輩に支援的にかかわっている。 ○ 必要時、看護補助者の同僚や後輩と意見を交わし、まとめている。 ○ 看護補助者の中心的なメンバーとして、発言できる。

※ 能力の獲得は、経験年数で決定されるものではないため、各ステップの能力を獲得する目安となる経験年数等は示していない。